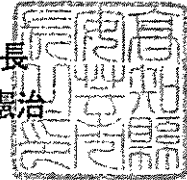


国土交通省道路局長
宮田 年耕 様



19 安建第 27 号
平成 19 年 5 月 1 日

高知県安芸市長
松本 憲治



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

貴職が日頃から日本の国土形成のための道路行政に邁進されていることに感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のありました中期的な計画の作成にあたっての意見について、下記のとおり回答しますので、我々地方の道路行政・事情についてご理解ご配慮頂き地域格差の生じている地方活性化の中期計画として頂きますようお願い致します。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

◆ 重点化を進める上で特に優先度が高い施策

- ・ 重点化を進める前提となる道路事業の総量と達成予算の確保
- ・ 道路財源は全国の道路ネットワーク整備が完成するまで絶対に堅持
- ・ 四国の魅力を引き出し、地域の競争力強化を図るための広域的な道路整備
- ・ 日本には都市の過密と地方の過疎が存在し、双方を解決するためにも道路整備は絶対条件である。
- ・ 地域の自立と豊かな生活環境を創造するための産業・観光振興など地域発展を図る道路施策
- ・ 毎年の台風、来たる南海大地震などから、安全安心を確保するとともに地域孤立化を回避する道路施策
- ・ 既存道路の長寿命化など、今後、質・量ともに増大する道路管理に対応する施策

など



◆ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・ 住民など地域との協働による道路の管理
- ・ 地域の実情に応じた地域独自のスペックの採用
- ・ 事業のスケジュール管理を徹底しあわせて目標を公表ことによる事業のスピードアップ
- ・ 道路の建設や維持・管理にかかるコストの縮減

など

◆ 道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 四国においては、「四国 8 の字ネットワーク※」が中期計画に盛り込まれることを強く要望する。
※ 四国8の字ネットワークとは、四国横断・縦貫自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道で構成する四国の骨格軸となる高規格道路ネットワークの通称。
- ・ 国の道路事業に対する地方負担の軽減を図るとともに、遅れている県道・市道整備に道路財源を充当すること。

など

〈道路整備の中期的な計画に関する意見 参考資料〉

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

◆ 我々地方の道路整備の現状と期待

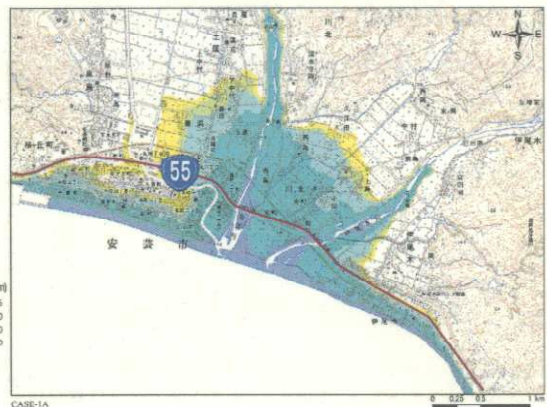
① 地方の道路整備ニーズは高い……道路特定財源を確保

- ◆ 地方にはまだまだ道路整備の強いニーズがある。本四公団債務返済の完了後に生じる財源は、早期完成を期す高速道ネットワーク整備に充てて行くべきであり、シーリングで抑えられている状況で特定財源がオーバーフローするとの理論はおかしい、地方に目を向けるべきである。
- ◆ 受益者負担の制度に則り道路整備のために道路利用者が納めた税金を他へ回すのは、言語道断である。

② 市民の命は地球よりも重い……南海大地震の津波により736名の人命が失われる。

- ◆ 国家は国民を救わなければならない。安芸市では津波による死者736人、地震全体では895人と想定、我々は市民の命を守らなければならない。
- ◆ 今後30年以内に52%の確率で発生する南海地震（最大波高8.1m）では、津波により広範囲の1本しかない国道が冠水し、緊急輸送路としての機能が麻痺する。
- ◆ 南海大地震による公共災害が少なくなるように減災対策として高率補助制度若しくは優先整備制度などの創設を要望する。
- ◆ 台風銀座“高知”での毎年の台風への備え、地球温暖化も懸念課題となっている。

南海大地震における浸水想定区域図（安芸市）



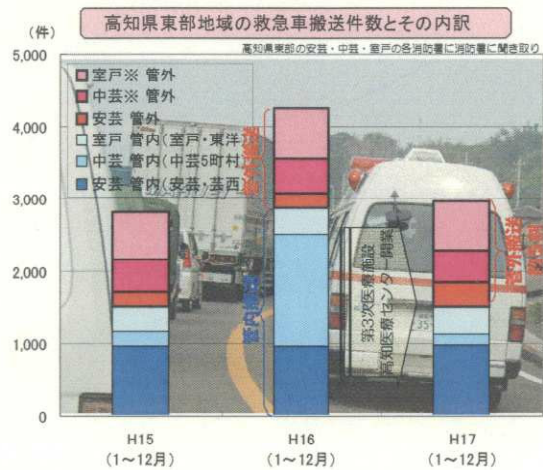
③ 1本の貧弱な道路に頼る……陸の孤島と化し人・物は海路で

- ◆ 東部へは国道55号一本しかなく、台風・崩土があると、陸の孤島になる。現実には国道斜面が崩壊し57時間通行止めになり、県東部は陸の孤島と化し、そのとき通勤・通学生・新聞は海路を船で渡った。
- ◆ 国道55号は事前通行規制と越波・冠水などの規制でH16：41回・延べ225時間、H17：21回・延べ156時間の通行止めが発生
- ◆ 地方には不便な道路、危険な道路、死と隣り合わせの道路が多々あり、老朽化した道路や橋の補修や南海大地震対策として耐震補強など必須の事業が山積している。



④ 地方医療の現状……道路がなければ命を守れない

- ◆ 医療機関へのアクセス、安芸市の救急搬送件数の約7割は1時間ほど掛かる高知市方面の医療施設に搬送、搬送時間に長時間を要するため複数出動の時には救急車不在の時もある。
- ◆ 脳神経外科・産婦人科でも、設備の整った県都高知市の病院を利用するケースが多い。



⑤ 家に3台、地方の重い税負担感……地方の交通事情・特定財源負担割合

- ◆ 地方の国民の公共交通は1時間に1本のバスが中心である。都会のように鉄道・地下鉄など走っていないためどうしても自動車社会となる。
- ◆ 地方は1世帯あたり平均1.1台の自動車を保有、大都会の0.5台程度と比較すると2.2倍。走行距離も2.3倍になり、家計に占める道路財源の負担割合は3.4倍にも登る。

道路特定財源の負担割合の比較(試算)

	1世帯当たり				
	自動車保有台数	走行距離	道路特定財源の年間負担額※	平均収入	家計に占める道路特定財源の割合
	(台)	(km/世帯)	(円/年・世帯)	(万円)	(%)
東京区部	0.50	3,408	34,032	439	0.77
高知市	1.04	7,555	65,132	302	2.16
安芸市	1.11	7,923	64,691	245	2.64
馬路村	1.15	9,818	77,175	279	2.77

※道路特定財源の他に自動車税、消費税も加算、

⑥ 高速道路の完成で農家に笑顔……都市の台所は地方が担っている。

- ◆ 生鮮品の物流では、ナス等の園芸品が高速道で大都市に運ばれると1~2割は、高く販売できる。高知県は大都市の台所へ新鮮な農林・水産物を届ける大きな役割を担い大都市住民の胃袋を養っている。



ナス シェア第1位(64%)



ゆず シェア第1位(48%)



ピーマン シェア第1位(48%)
ピーマン シェア第3位(8%)



ミョウガ シェア第1位(74%)



オクラ シェア第4位(13%)

※シェアは、東京都中央卸売市場でのシェアと県別順位、(平成15年度 東京都中央卸売市場年報より)



⑦ 観光振興に……眠れる地域の資源

- ◆ 百余年の時を刻む野良時計、童謡作曲家の弘田龍太郎、陶芸の内原野焼き、昭和40年から続く阪神タイガース安芸キャンプ、大学野球キャンプのなど、地域に眠る資源の振興のためには道路が必要である。



野良時計



阪神タイガース安芸キャンプ



だるま夕日



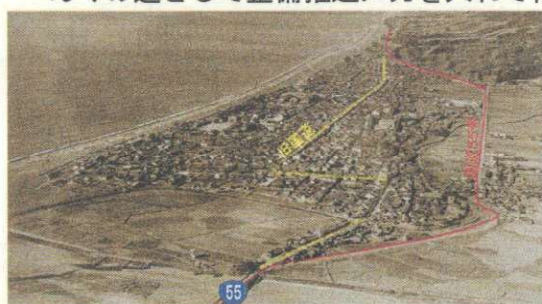
作曲家 弘田龍太郎



陶芸 内原野焼

⑧ 半世紀に一度の大事業……夢の道

- ◆ 東部唯一の広域道路である国道55号は約40年前に完成した、阿南・安芸高規格道は半世紀に一度の大事業であり、四国東南部の21世紀への存続をかけた道路と位置付けている。おらんくの道として整備推進に力を入れて行きたい。



1955年(昭和30年)頃の安芸市街地

47
年
経
過



2002年(平成14年)の安芸市街地

⑨ 低い道路整備率……高規格道路がない！

- ◆ 高速道路の整備率は、全国63%、四国69%となってきた。一方、四国8の字ネットワーク（高規格幹線道路・地域高規格道路網）の形成率は、四国全体は57%であるが、高知県は34%、県東部は県管理の北川奈半利道路が約3kmのみ部分供用しているだけで、直轄管理の高規格道は1mも供用していない。
- ◆ 地形的・気象的条件が厳しく県土が広く整備すべき社会資本が多いにも関わらず税収が少ないため、社会資本整備が遅れた。

全国対比した四国の現状

		全国	四国	高知	全国順位
社会資本整備の水準					
高規格道路の整備率	(%)	63	69	41	—
道路改良率(H16.4)	(%)	56.6	47.5	42.3	45位
河川(水害被害額 H7~16)	(百万円/千人)	5.7	20.4	50.2	47位
砂防(急傾斜・砂防危険箇所数)	(箇所/千人)	4.1	13.0	22.4	46位
下水道(汚水処理人口普及率)	(%)	79.4	53.4	54.7	45位
地形・気象的な条件					
年間降水量	(mm)	1,586	1,690	2,417	—
山地率	(%)	54	81	89	—
税収					
一人当たりの税収(H14:高知県)	(円)	263,469	207,422	184,004	—

◆ 必要な道路施策とは

① 定住促進対策……地域に住み続けるために

- ◆ 高知県は人口減少しており、高速道・高規格道の完成は、人口減少対策、産業立地効果が大きく、結果的に若者の地方定住促進対策となる。

② 地域ブランドを輝かせる道……四国の将来を担う

- ◆ 四国8の字広域道路ネットワークは、人と地域ブランドを輝かせ災害時には命の道となる。

③ 地域格差の是正……同じスタートラインに立てるように

- ◆ 贅沢を言っているのではない。同じスタートラインに立てる条件として地域格差是正のためにも道路整備が必要である。

④ ネットワークであってこそ生きる道……途切れた道では役立たず！

- ◆ 平成16年の台風災害で香川・愛媛間での交通途絶。そのとき中国地方を含めた高速道路がネットワークとして活躍、道路はネットワークであってこそ効果を発揮するものである。

⑤ 四国はXハイウェイで止まる？……待ちに待った順番が遠のく？

- ◆ 四国では4県都を結ぶXハイウェイが完成して、現在、県都から地方都市に延伸しつつある。やっと順番が回ってきた矢先に、その整備も危ぶまれる一般財源化の動きに断固反対（高知県内市町村の91%の首長が一般財源化に反対）する。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

① 地域との連携・協働のボランティア活動

- ◆ ボランティアサポートプログラム「ふれあい四国路」、我々地方では「ふれあい海道」などのボランティア活動が盛んである。
- ◆ 我が市では市が材料を支給し市民で維持補修する制度及び草刈りボランティアなど地域との協働の取り組みを行っている。

② 1.5車線の道路整備……身の丈にあった(地域独自のスペック)道路

- ◆ 1.5車線の道路整備の手法が県民にも浸透し、完全な2車を望むものではなく、身の丈にあった道路整備へと変化している。

③ 地方の若者……目標を持ち早期供用へ

- ◆ 今時の地方の若者気質は、地方は完全な車社会だ。地方の生活者は車と高速道が無くては困るものである。吉幾三の唄に「おら東京さ行くだ」というヒット曲がある。「あれもねえ！これもねえ！……こんな村嫌だ」という歌、私も若者達に高速道路がなかったら町を出て行くよと言われている。
- ◆ 四国8の字高速道の開通が20年・30年先となると今の若者がいなくなる。完成年限を設定して早めの完成が人口減少を抑制することとなる。



④ 地震国日本……既存ストックを延命するために

- ◆ 地震を受けるたびに構造物が強固な基準になり補強等も必要となる。市では、耐震補強も未実施、津波避難路・復旧のためとしての耐震補強も急務であり、その財源の確保が必要である。
- ◆ 既設道路の維持管理に要する費用は、老朽化とともに年々増大するため、その財源の確保も必要である。

(3) 道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

① 「ない・ない・ない、三無いの三重苦」……道路未整備地域に特別支援制度を！

- ◆ 道路整備が遅れている地方は、人口が少ない。産業が少ない。所得が少ない。という「三ない（三重苦）」を背負っている地域である。人口・産業・所得を上げるための道路整備がなくなれば地方の時代はなくなる。道路整備が遅れている地域に必要な財源を確保する制度創設を要望したい。

② 道路特定財源が余るなら……地方の道路施策支援を！

- ◆ 道路特定財源に余剰が出るというのなら、遅れた地方の道路整備に充当すべき、あるいは、地方負担の軽減若しくは国管理路線の拡大などをすべき。



平成 18 年 7 月 28 日(金)
高知新聞(朝刊 21 面)

(21) ☆ 2006 年(平成 18 年) 7 月 28 日 (金曜日)

所感 雑感

七月十一日、高知東部自動車道(高知市―安芸市)整備促進大会が安芸市で開催された。高知市から東洋町まで十三の市町村長、議長、関係団体が国会議員や国の国土交通省に強く要望する大会です。道路利用者の声を国、県に伝えることは、とても重要なことです。男ばかりに任せておけないと三人の女性から意見発表がありました。

香南市夜須の江本美江さんは「夜須の手結山の国道は狭く、最悪の危険地域で子供を歩かせられない。高知道を完成させて、国道55号の渋滞が緩和され、住民にとって重要な生活道として安全安心な国道にしてほしい」と母親の気持ちを訴えられました。

香南市から東の道路事情は、国道55号だけが生命線です。片側一車線の国道は、救急車も「往いて帰って来ない」と叫びながら走り、狭道のない国道を歩かなくてはならない高知道半の学生、電動車いすの高齢者は、命の危険

高知東部自動車道整備促進期成同盟会長 松本 憲治



タ、安全安心で即応性・自在性を備えた高速度道路が必要

四国8の字高速道の実現を

です。東部は良いところ、観光振興のためには高知道が必要」と微笑みながら高知道に夢を託していました。

都会の方は分からないでしょうが、台風銀座の高知県では海岸の国道は悲慘です。黒褐色の大波と一緒に大きな石が国道に打ち上げられます。

通行止めによって、救急救命・緊急出庫・ライフラインの確保、新鮮さが命の農林水産物の出荷など多くの生活不安が、居住条件を悪くしてい

にあらわれています。また、迂回路や追い越し区域がなく、三日の通勤ラッシュ、阪神タイガースキャンプなど交通渋滞が加速しています。

ます。安芸市の安岡久栄さんは、「昔は歩きであった道路は、今は、歩き、マイカー、バスと多様化している。四国遍路道のように四国8の字高速道のように四国を一つに結ぶ道が新しい二十一世紀の道路として四国を一つに結ぶ」と願っています。

現在、高知東部自動車道は、南国市、香南市で工事が進み、手結山トンネルを二十四時間掘り続けています。高知東部自動車道に続く阿南安芸高規格道(安芸市―徳島県阿南市)では、三月三十一日には国土交通省が安全道路六

大会の締めくくり、「おうちの船は30トン」の曲に合わせて、「山がへだてた四つの国を、一つにつなぐ8の字の道、おうちの四国は8の字だ」と、高知、徳島、愛媛、香川、一つに結ぶ高知道、エンヤコラセー、エンヤコラセーと高知道の早期実現を期して出席者全員で歌いました。

しかしながら、昨年、政府が道路建設のための道路特定財源を一般財源にも使つて表明しました。一般財源化と

(列支) 九一四一四〇

1 素晴らしき二度目の青春

洗心寮に入ったのが平成三年一月であった。安芸市から自治大学校への遊学は八年ぶり、郷土の期待を一身に受けて(う)花の東京へ勇んで行った。

江戸時代末期一八五四年に坂本龍馬など土佐藩士と共に江戸をめざした若者たちがいた。我が市の妙見山山頂の星神社に「後日、英明を天下に輝かさざれば、再び帰ってこの山に登らじ」と大書、疾風怒濤の心意気、天下を雄飛した男、三菱財閥を築いた岩崎弥太郎は、安芸市が生誕の地である。

全国の自治体から集まる市町村の優秀生や大学の講義に興味津々であった。人つてみてすぐに分かったのは、やはり全国区だ。将来、市町村をリードするすごい男が各フロアーにいたことであった。

私の行政経験は、ほんとにうすっぺらであり、恥ずかしい思いをしたことが多かった。出しゃばり好きの土佐っ子であり、知ったかぶりをしながら論陣の輪に入っていた。

自治大学校では、大出内閣法制局次

長、作家童門冬二、堀家弁護士、太田、

諸橋、武居、坂田、官脇教授はじめ諸先生が思い出され、厳しい質問に冷や汗をかきながらも貴重な知識集約の機会であった。また、広尾で燃えた一四〇人、翔んだ男たちのメッセーじ集を読み返していると、千昌夫に会った有栖の森や南部坂、週末の東京探訪、イラクがクウェートに侵略した湾岸戦争の勃発など三ヶ月間の思い出は、私の人生に新たなエネルギーを充電させてくれた。

「Close, Nearer, Government!」地方自治の星と太陽になれと誓い合った男たちの約束は何にも代え難きものだ。自治大学校での勉強はこれまで使わなかった頭脳を刺激し、洗心寮の毎夜の語らいは血流をよみがえらしてくれた。

飲むほどに酔うほどに「酔って候!」と言いながら各フロアーを回り、市町村白慢、活性化論議をする時、みんなの目は真剣であっ



小泉首相に訴えたいー南海大地震から命を守る国道の整備促進を

高知県安芸市長

松本 憲治

た。また、若き若学生時代と違い、妻に苦勞をかけながらもリッチな二度目の青春時代は素晴らしい六本木族でもあった。

楽しいエピソードを一つ。財政難が続く今日、高規格救急車の寄贈を消防庁に要望するため上京。武居教授が救急救助課長席にいるではありませんか。「武居教授、第一部第一〇〇期でお世話になった高知県安芸市長の松本です。」と名刺を出し、一生懸命要望した。これは神のおみちびきかな。現在、武居教授は福岡県副知事の要職にあり、地方自治に燃えておられる。

2 命を賭ける

一二年の正月元日、太平洋を望む浜辺に座り、心を空(くう)にして市政を考えていた。この時、二期目の現職に対抗して八月の市長選挙立候補を決意、厳しさも知らず選挙に猪突猛進していった。我らが一〇〇期組(百心会)の番長である稲城市の小菅会長からは学友の必勝寄せ書き、豊川市の武田君からは大きな必勝ダルマ、そして北海道士幌町長の小林君、ルームメイトの松岡君をはじめ、全国から檄文と兵糧をいただき、感激と感謝の気持ちでいっぱいだった。新居浜市の高橋君は、安芸市の開票所に足を運び戦況を見守っていたとは当選決定後に知ったことだった。

勝利は男子の本懐であるが、赤字再建団体に一手手前の財政再建、地元対策が困難なし尿処理場と広域ゴミ処理場の建設、八年ぶりの国保税引き上げ、地場産業の振興、住宅団地開発、阪神タイガースキャンプ、南海大地震対策などめまぐるしい忙しさで、多事多難な一期日だった。お陰様で、四年後の一七年八月には、予期せぬ無投票再選、必勝ダルマに二回目の魂を入れることができた。これからは初心と情熱を忘れず邁進していくと決意している。

3 地方の小さな市の行革と台所事情

昨年十二月に上京した時、永田町、霞ヶ関は衆議院選挙で歴史的に大勝した小泉総理旋風が吹き荒れ、「総理に逆らえない。」空気があった。

国民がイエスと審判をした郵政民営化に続き、医療費、所得税、三位一体、道路財源、公務員など構造改革が推進され、税金無駄使

いストップに国民が強く賛成している。

これから先、日本の都市構造は、大都市と県庁所在都市や中核都市と地方の小さな市町村の三極分化が進んでいき、財政力指数〇・五以下の市町村は生き残りをかけた競争の時代である。地方の市町村財政は、三位一体改革・地方交付税の大幅なカットと税源の減少で市民生活、医療、介護、教育・福祉水準の現状維持が困難な状況まで追い込まれている。いつまで我慢できるのか、我慢比べの時代である。

安芸市は、一四年度から人件費を大幅に見直し、市長三役給与・退職金一〇％カット、職員給与・各種委員報酬五％カット、職員三八九人から八五人削減（二二％の削減）を行い、公立保育所の民営化を行い、ラスパイレース指数が〇・八九となったのは、職員の努力と協力のおかげである。質素節約をモットーに歳入の確保、歳出すべてを見直し続けて五年目となった。

一六年度の三位一体改革が追い打ちとなり、やりくり算段、綱渡りの財政状況だが、改革の手綱をゆるめることなく、ピンチをチャンスに生かす行財政改革を着実に進めなければならないと決意している。

4 夢と希望をもってチャレンジ

大都市は景気回復、財政力も豊かであるが、高知県と県内市町村の財政は極度に貧乏にきている。一次産業県の宿命で、人口減少、企業立地や働く場所が少なく経済指標は良くない。しかし生活しやすい気候風土、真つ青い空、雄大な海、アユ踊る清流、明るくお人好しの県民気質を大切に、都会ほどの収入はなくても明るく楽しく元氣良い県・市町村づくりをプラス志向で進めていかなければならない。

安芸市は、人が元氣、まちが元氣、健康一番をめざす健康文化都市、冬春ナス生産日本一の施設園芸のまち、「浜千鳥、春よ来い、叱られて」の童謡作曲家弘田龍太郎、近代書道の巨匠・川谷横雲、南不乗の生誕地で童謡と書道と陶芸のまち、四二年続く阪神タイガースのキャンプ地でもある。

エッセイ

自治大OBが語る地方自治 105

星野・岡田監督、長島茂雄氏との会談やタイガースの選手とのおつき合いは安芸市長冥利である。

NHKの大河ドラマ「功名が辻」が始まり、土佐藩主、山内一豊と千代の素晴らしい夫婦愛が全国に広がり、若者の結婚願望が増加し、国の少子化に歯止めがかかれば最高である。武田鉄矢さんが演じる五藤家が江戸時代に安芸市を知行した殿様である。上佐二四万園博の高知市と歴史と文化の香るまち、安芸市へのご訪問を熱烈大歓迎。

5 市長が解決できぬ大きな悩み

私の大きな悩みは、道路財源の一般財源化の問題である。日本地図を開いてみて欲しい。四国の東南部は海岸線に沿って国道が一本しかなく、いつも台風で通行止め、国道のすぐ南は太平洋という地域が徳島県まで続き、国道は分断される。

三〇年以内に大規模な南海大地震が発生し、スマトラ沖地震のようには津波が襲い、県内で一万人、県東部で二、三〇〇人、安芸市で約一、〇〇〇人の死者がでると高知県が発表した。市長は市民の命と財産を守る責務があり、弱き高齢者、女性、子どもを守らねばならない。溺れてからは遅すぎる。

小泉首相殿、私たちが必要とする道路は「かけがえのない命の道」であり、地方には、国道整備はまだまだ必要である。地方の実情をご賢察いただき、道路財源を地方に配分して助けて欲しい。一年でも早く完成するように陳情を重ねて県民の命を守り、安心できる四国にしたいと誓った一八年のお正月であった。

